

Winart Living with WINE に、 ドメヌ・ヴァンデミオのイマジンが掲載されました！

音楽がかき立てるワイン造りへの情熱

(以下、本文より一部抜粋)

アートに境界線はない。昔から芸術家たちは、別のジャンルの芸術家から、つねにインスピレーションを受け続けている。ワインというアートと音楽が融合するのも、決して不思議なことではない。
最近、そんなワインが日本に上陸した。

そのひとつが、2006年南ローヌ、コトー・デュ・ヴァントゥに設立されたばかりのドメヌ・ヴァンデミオがリリースした、イマジン。
ジョン・レノンのファンであるワインメーカーのジャン・マロは、ワインが多くの想像をかき立ててくれること、造り手はそのワインがどう変化していくのかをつねに想像していることも含めて、この名前を選択したという。



Satisfaction for Nose and Palate 音楽がかき立てる ワイン造りへの情熱

ローリング・ストーンズに、ビートルズ。世界に名を轟かす、音楽界のビッグスターの想いがワインの世界でも、作品となって現れている。飲み手にもインスピレーションを与えるワインたちが、ここに。



1. サティスファクション2007 ローリング・ストーンズワイン (15,000円/シュート)。2000本限定販売。2. イマジン 赤 2009 ドメヌ・ヴァンデミオ (3,507円/出水商事)。2011年2月発売予定。トップ・キューヴェは「アマテウス」。

アートに境界線はない。昔から芸術家たちは、別のジャンルの芸術家から、つねにインスピレーションを受け続けてきている。ワインというアートと音楽が融合するのも、決して不思議なことではない。最近、そんなワインが日本に上陸した。

そのひとつが、2006年南ローヌ、コトー・デュ・ヴァントゥに設立されたばかりのドメヌ・ヴァンデミオがリリースした、イマジン。ジョン・レノンのファンであるワインメーカーのジャン・マロは、ワインが多くの想像をかき立ててくれること、造り手はそのワインがどう変化していくのかをつねに想像していることも含めて、この名前を選択した

という。シラー50%、グルナッシュ50%のブレンドで、コンクリートタンクを使い熟成。07年のヴィンテージは「ワイン・アドヴォケート」誌から91点を獲得している。

一方ナバ・ヴァレーからは、ボルドーブレンドの赤、ローリング・ストーンズワイン、サティスファクションがデビュー。コンセプト作りの段階から、ミック・ジャガーが深くたずさわった。「サティスファクション」は、日本語で満足という意味。同名の歌がアメリカでのファーストナンバーにあたる思い出の一曲というだけでなく、完成したワインに対する自信も反映した命名といえそう。